

球磨川通信

球磨村渡地区浸水軽減対策関連事業完成式

平成27年2月7日(土)10時より、球磨郡球磨村大字渡地先にて、「球磨村渡地区浸水軽減対策関連事業完成式」を球磨村と共同で開催しました。

式典の会場には、地元の国会議員・県議会議員・村議会議員、熊本県、熊本高専学校長、球磨川漁協組合長、地元区長、関連の各企業、用地提供者、地域住民など約70名の来場者にご参加頂き、盛大な式典が執り行われました。

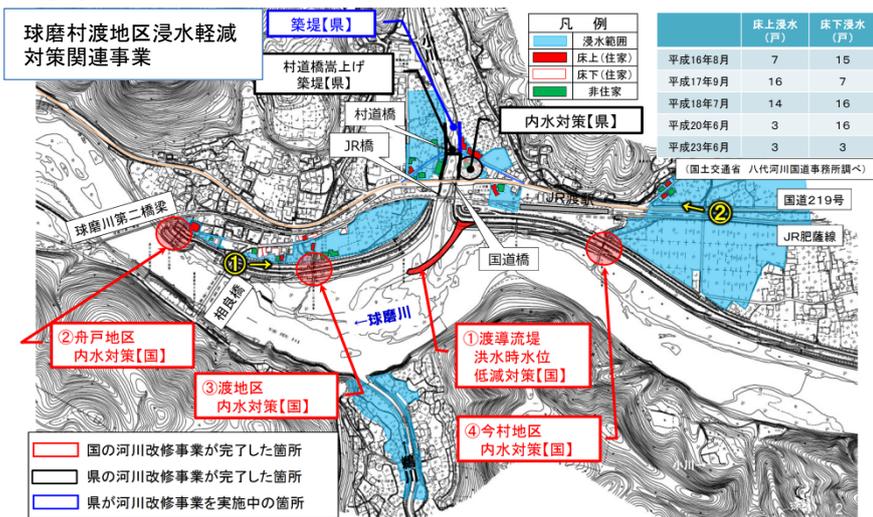
事業完成にあたり、ご協力いただきました地元や関係者の方々にあらためて感謝申し上げます。



オープニングセレモニー
地元の渡保育園児による合奏・合唱の披露



排水ポンプの通水式ではくまモンも来てくれました



地域を守る建設産業～シリーズその①～

【鳥インフルエンザ防疫対策】

平成26年4月に熊本県にて発生した高病原性鳥インフルエンザについてはみなさんの記憶に新しいかと思えます。実はこの鳥インフルエンザの感染拡大防止に向け、地元の建設業が大活躍していたことはあまり知られておりません。

発生直後に熊本県建設業協会人吉支部は県などからの要請を受け、初動72時間において人吉支部全企業より84人を動員し、重機による鶏約1万2000羽の埋却、消毒ポイントの造成及び消毒など24時間体制で作業を行いました。被害拡大防止に繋がったのは地元建設業の協力があったからこそといっても過言ではありません。

また、終息後も球磨地域振興局と熊本県建設業協会人吉支部が共同で新型プール式消毒水槽の開発を行ったり、防疫演習を行ったりするなど、早期対策、感染拡大防止に向け日々陰ながら頑張っているのです。



▲: 埋却処分の支援
(建設機械による掘削・埋め戻し作業)



▲: 消毒水槽の造成

球磨川で油流出事故が発生しました

平成26年11月26日、付近の住民が転倒させたタンクから重油が漏れ、道路の排水路を伝い球磨川本川に流れ込む、油の流出事故が発生しました。

当日は消防組合、あさぎり町役場、錦町役場等の関係機関から多数の人が対策にあたりました。



**油流出を含む水質汚濁事故は起こした人の責任です。
処理費用は原因者による負担となります。
また、被害に対して賠償を請求されることもあります。**

水質汚濁事故は、河川や水路、海、地下水等に重大な環境汚染を引き起こし、水道や農業用水が取水できなくなるなど、人の生活や動植物に多大な影響を与えるおそれがあります。

日頃から施設の点検や管理を徹底し、事故の防止に努めましょう。
また、万が一事故が発生してしまった場合は、すぐに最寄りの消防または役場へご連絡ください。

油流出事故を起こさないよう、以下の点にご注意ください。

- 給油中は、絶対にその場を離れず、また、目を離さない。
- 貯油タンクは、安定した場所に設置し、転倒防止を行う。
- タンクや配管に腐食や亀裂がないかなど、定期的に点検する。
- バルブの閉め忘れに注意する。
- 万が一の油漏れに対し、防油堤の設置、オイルマットの整備をする。
- 不要となった油は、適切に処分する。

